

## 第26回宇宙開発委員会（定例会議）

### 議 事 次 第

1. 日 時           平成8年9月4日（水）  
                  14：00～15：30
2. 場 所           委員会会議室
3. 議 題           (1) 前回議事要旨の確認  
                  (2) 宇宙基地日米計画調整委員会の開催について  
                  (3) 宇宙実験用小型ロケット（TR-IA）4号機実験成果について  
                  (4) 地球観測衛星「みどり」の初画像について  
                  (5) DC-XA飛行実験について
4. 資 料           委26-1 第25回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）  
                  委26-2 宇宙基地日米計画調整委員会の開催について  
                  委26-3 宇宙実験用小型ロケット（TR-IA）4号機微小重力実験  
                          成果報告  
                  委26-4 地球観測衛星「みどり」初期機能確認  
                          コアセンサーの初画像について  
                  委26-5 DC-XA飛行実験について

委 26-1

## 第25回宇宙開発委員会（定例会議）

### 議事要旨(案)

1. 日時 平成8年8月28日(水)  
14:00～16:30
2. 場所 委員会会議室
3. 議題 (1) 火星探査について  
(2) 小型自動着陸実験(ALFLEX)の結果について(速報)  
(3) 前回及び前々回議事要旨の確認について  
(4) 平成9年度における宇宙開発関係経費の見積りについて  
(5) H-IIロケット4号機の打上げ結果概要及び地球観測プラットフォーム技術衛星の追跡管制状況(速報)等について  
(6) TR-I A5号機の打上げについて
4. 資料 委25-1-1 火星探査に関する日米協力  
委25-1-2 火星探査に向けた宇宙開発事業団の検討状況  
委25-2 小型自動着陸実験(ALFLEX)の結果について  
(速報)  
委25-3-1 第23回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨(案)  
委25-3-2 第24回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨(案)  
委25-4 平成9年度における宇宙開発関係経費の見積りについて(案)  
委25-5-1 H-IIロケット4号機の打上げ結果概要及び地球観測プラットフォーム技術衛星の追跡管制状況について  
(速報)  
委25-5-2 ADEOSの20ニュートンスラスタの不調とその後の軌道制御について

委25-6 宇宙実験用小型ロケット（T R - I A）5号機の実験  
装置の状況について

5. 出席者

|              |         |
|--------------|---------|
| 宇宙開発委員会委員長代理 | 野 村 民 也 |
| 宇宙開発委員会委員    | 山 口 開 生 |
| 〃            | 末 松 安 晴 |
| 〃            | 長 柄 喜一郎 |

関係省庁

|                    |             |
|--------------------|-------------|
| 文部大臣官房審議官（学術国際局担当） | 中 西 釦 治（代理） |
| 通商産業省機械情報産業局次長     | 河 野 博 文 〃   |
| 郵政大臣官房技術総括審議官      | 甕 昭 男 〃     |

事務局

|                  |         |
|------------------|---------|
| 科学技術庁研究開発局長      | 加 藤 康 宏 |
| 科学技術庁長官官房審議官     | 大 熊 健 司 |
| 科学技術庁研究開発局宇宙政策課長 | 千 葉 貢 他 |

6. 議事

(1) 火星探査について

東京工業大学 中澤教授、宇宙科学研究所 清水名誉教授、鶴田教授、水谷教授より、資料委25-1-1に基づき、日米の火星探査計画について、我が国が1998年に打上げ予定のP L A N E T - Bや米国の一連の火星探査衛星に関する日米協力等の説明があった。また、火星由来の隕石から見出された火星生命体の存在の可能性、火星生命探査に関する我が国の体制の現況、その他の生命探査を目的とする米国のオリジンプログラムに関連する日米協力について説明があった。

これに関し、委員より、化学分析の結果から生命の可能性があると判断した根拠、この隕石が火星由来であるという根拠及び研究を行う方法や体制作り等について質問があった。

宇宙開発事業団 三浦理事、山田企画調整部長より、資料委25-1-2に基づき、主に米国及びロシアの火星探査に関するこれまでの成果、今後の計画、宇宙開発事業団におけるインフラストラクチャーを中心とする火星観測、探査へ向けた検討状況について説明があった。

これに関し、委員より、米国の2000年以降の火星探査計画及び火星探査ミッションにおける技術的な内容に関して質問があった。

まとめとして委員長代理より、現在NASAに対し、火星探査の専門家の派遣を要請しており、実現すれば詳しく話を聞くこととすること、さらにこれを踏まえ、我が国としての火星探査等への検討を開始することとしたい旨発言があった。

## (2) 小型自動着陸実験 (ALFLEX) の結果について (速報)

航空宇宙技術研究所 森総合研究官及び宇宙開発事業団 柴藤参事より、資料委25-2に基づき、今年度6月末から8月15日にかけて、オーストラリアのウーメラ飛行場で行われた小型自動着陸実験 (ALFLEX) に関して、計13回の実験が無事終了し、所定のデータが取得されたことが報告され、また、着陸性能評価及び機器作動状況に係る実験の結果並びに引き続き詳細なデータ解析を3～4カ月かけて行い、HOPE-Xの設計へ反映する予定であることが説明された。

これに関し、委員より、HOPE-X運用の風条件は、今回の実験で保証されているか否か、予想着地地点と実験結果のずれの理由及び外部専門家による評価の必要性等について質問があった。

## (3) 前回及び前々回の議事要旨の確認について

第23回宇宙開発委員会 (定例会議) 議事要旨 (案) (資料委25-3-1) 及び第24回宇宙開発委員会 (定例会議) 議事要旨 (案) (資料委25-3-2) が確認された。

## (4) 平成9年度における宇宙開発関係経費の見積りについて

事務局より、資料委25-4に基づき、「平成9年度における宇宙開発関係

経費の見積りについて（案）」が決定され、内閣総理大臣に報告することとなった。

(5) H-Ⅱロケット4号機の打上げ結果概要及び地球観測プラットフォーム技術衛星の追跡管制状況（速報）等について

宇宙開発事業団 十亀理事、中野参事より、資料委25-5-1に基づき、平成8年8月17日にH-Ⅱロケット4号機を用いて打ち上げた地球観測プラットフォーム技術衛星（ADEOS）及びアマチュア衛星3号機（JAS-2）について、ロケット打上げはほぼ予定どおりであったこと、両衛星の分離等はほぼ正常に行われたこと等の説明があった。

また、同事業団地球観測システム本部 岩崎追跡管制部長、山田総括開発部員より、資料委25-5-2に基づき、不調が発見された20ニュートンスラスタのテスト噴射の結果について説明があり、20ニュートンスラスタに代えて1ニュートンスラスタで軌道傾斜面制御を実施し、正常に終了したこと、今後の予定として、軌道高度の制御にも1ニュートンスラスタを用いること、この不調により衛星のミッション寿命に対する影響はないと思われること、不調の原因について調査を実施していること等の説明があった。

これに関し、委員より、不調が発見されたスラスタの使用実績、1ニュートンスラスタのみでの制御を選択した理由等に関して質問があった。

(6) TR-ⅠA5号機の打上げについて

宇宙開発事業団宇宙環境利用システム本部 斉藤総括開発部員より、資料委25-6に基づき、宇宙実験用小型ロケット（TR-ⅠA）5号機は、9月20日頃を打上げ予定としており、燃焼現象実験装置、多目的均熱炉、観察技術実験装置Ⅱ型、流体物理実験装置Ⅱ型という、搭載する4つの実験装置の試験、準備等の状況について説明があった。

これに関し、委員より、TR-ⅠA計画の進め方、微小重力実験をロケット、航空機、落下塔を利用して行う場合のコスト等について質問があった。

以上